

『教行信証』『信卷』の究明

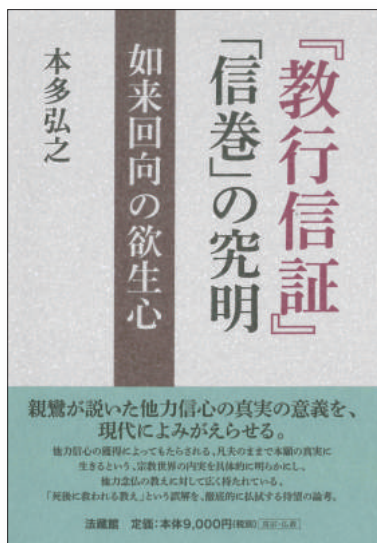
如来回向の欲生心

ほんだ ひろゆき

本多弘之 著

▼A5判・上製カバー・四九二頁・本体九、〇〇〇円十税

2017年9月刊行



真宗教学研究を牽引する著者が、他力念仏の教えに対して持たれる「死後に救われる教え」という誤解を払拭する待望の書。

【目次】

刊行にあたって

- 第一章 『教行信証』『信卷』の大綱
- 第二章 「別序」の課題―「救済」の明証
- 第三章 「己証」の解明
- 第四章 極悪深重の衆生と真実信心
- 第五章 三心一心の問答
- 第六章 真実信心の特質
- 第七章 時剋の極促―存在の満足成就
- 第八章 欲生心成就による正定聚、不退転の機

◆好評発売中！

増補版 親鸞教学

本多弘之 著

曾我量深から安田理深へ

▼A5判・上製カバー・二八〇頁・本体三、八〇〇円十税

親鸞思想の原点

本多弘之 著

目覚めの原理としての回向

▼A5判・上製カバー・一八〇頁・本体二、八〇〇円十税

◆著者紹介

一九三八年、中国黒龍江省に生まれる。一九六一年、東京大学農学部林産学科卒業。一九六六年、大谷大学大学院修了。大谷大学助教授を経て、二〇〇一年、親鸞仏教センター所長に就任。真宗大谷派本龍寺住職二〇一六年より中村元東方研究所講師。一九八三年、大谷大学を辞任の後、『安田理深選集』（全三十二巻、文栄堂）の編集責任にあたる。

主な著書に、『親鸞思想の原点―目覚めの原理としての回向』『大無量寿経講義』全三巻、『一念多念文意講讀』『親鸞の名号論―根本言の動態的理解』『増補版親鸞教学―曾我量深から安田理深へ』以上、法藏館、『浄土―その解体と再構築』『浄土―その響きと言葉』『浄土―おおいなる場のはたらき』『教行信証』行巻講義1〜7（以上、樹心社）、『近代親鸞教学論』『他力救済の大道―清沢満之文集』『親鸞の鉅脈』『静かなる宗教的情熱―師の信を憶念して』以上、草光舎など多数。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様 冊
法藏館 本多弘之 著 『教行信証』『信卷』の究明 ―如来回向の欲生心― ISBN: 978-4-8318-8765-8 C3015	本体九、〇〇〇円十税 住所 お電話 お名前

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

真宗・仏教